

10/7

スポーツが^{ちいき}地域をひとつにする日

筑紫野市スポーツ推進委員の皆さんなどが中心となり運営される市民体育祭が9月30日から10月14日にかけて市内各地で開催されました。

8カ所で開催された秋晴れの10月7日、55回目となる市民体育祭が開催された二日市東小学校区では、大人も子どもも無我夢中になった玉入れ、地域のチームワークを発揮した綱引き、ホールインワンに拍手が起こった



市内各地で市民体育祭が開催されました

グラウンドゴルフ、一番の盛り上がりを見せた地区対抗リレーなど、さまざまな競技で盛り上がり、観客席からは、手作りのポンポンや行政区の旗を振りながら、大きな声援が送られました。

参加者の皆さんが笑顔で体を動かし、地域の団結を深めた一日となりました。



10/11

^た食べて、^{はな}話して、^{たが}お互いを知る

市内小中学校に学校給食訪問

藤田市長が市内小中学校を訪問し、給食の時間に子どもたちと交流する学校給食訪問を実施しています。今年には山口小学校、吉木小学校、二日市中学校、筑山中学校の4校を訪問しました。

吉木小学校では6年生の児童8人と一緒に給食を食べました。給食を残さずきれいに食べた後には、さまざまな会話を楽しみ、市の取り組みへの質問や、給食に取り入れてほしい献立などの意見を聞くことができました。



「学校の残菜を減らしたい」という抱負も聞くことができました

9/26

こどもたちを^{まも}守る^{おも}思い

あら新たに

針摺東区子どもを守る会視察研修

針摺東区では、10年以上前から「子どもを守る会」を立ち上げ、毎日下校時に通学路に立つことや青色パトロールカーで巡回するなど、子どもたちを見守る活動を続けています。

今回、同会の皆さんは平成4年に飯塚市で小学生が犠牲となった痛ましい事件の現場を訪問し、手を合わせました。事件を風化させないために、また地域での見守り活動の思いを新たにしました。



事件現場を視察した「針摺東区子どもを守る会」の皆さん

ちくしのクリップ

10/13-14

多くの人に支えられてきた40年 これからも野球を通しての出会い・経験・成長を

山家少年野球クラブ創部40周年記念第20回筑紫野市学童軟式野球大会

20回目となる筑紫野市学童軟式野球大会が筑紫野市野球連盟主催で行われ、市内の少年野球6チームがトーナメント形式で試合を行いました。

今回は、山家少年野球クラブが創部40周年を迎えた記念大会として行われ、開会宣言や選手宣誓、創部当時の選手による始球式が山家少年野球クラブから行われました。大会実行委員長の木村 哲也さんはあいさつで「これからも野球を通してしかできない貴重な体験をしながら

50周年60周年を迎えられるよう努力していきます」と話していました。

大会は、二日間にわたって総合公園野球場で行われ、各チームが優勝を目指して試合を行い、筑紫野ファミリーズが準優勝、筑紫ビッキーズが優勝に輝きました。秋晴れの空の下、大きな声援を受けながら、どの選手も全力で白球を追いかけていました。



選手入場の後、選手宣誓、山家少年野球クラブOBによる始球式により大会の幕が開きました

10/13

先人の思いを受け継ぎ、 これからも地域に根差して

筑紫野市シニアクラブ連合会(シニア連)創立45周年記念式典

昭和48年の設立から45周年を迎え、生涯学習センターで記念式典が開催され、約300人の皆さんが出席しました。功労者への表彰と記念講演の実施、また、会員によるアトラクションでは剣舞や南京玉すだれ、民舞などが披露され、祝いの席に花を添えました。

本年4月に市老人クラブ連合会から改称したシニア連では「地域で助け合い、支え合う高齢者の互助社会づくり」を目指し、活動を進めています。



見事なハーモニーを響かせたメール・クワイア筑紫の皆さん

10/12

筑紫野市民の誇りを剣に込めて

筑紫野市チームが県民体育大会の剣道競技で優勝

9月に開催された福岡県民体育大会の剣道競技(青年男子の部)で筑紫野市チームが優勝し、11月9日(金)から東京武道館などで開催される全国青年大会への出場が決定。この日、藤田市長に報告しました。

子どもの頃に山口剣友会で共に稽古をした仲間が集結し、抜群の団結力を見せる筑紫野市チーム。大将の吉村勇希さんは「皆さんの支援への感謝を忘れず、市民の誇りと自信を持って全国に臨みます」と決意を話しました。



藤田市長から「目標をしっかりと持つように」と激励がありました